

	<p><b>津幡町立津幡中学校</b> Tsubata Junior High-School</p> <p>学校だより</p> <p><b>さわやか</b></p>	<p>令和6年1月10日 &lt;1月号&gt;</p> <p>〒929-0325 石川県河北郡津幡町 字加賀爪又6番地1 TEL 076-289-2213 FAX 076-288-5535</p> 
---	--	---

## 今日、精一杯生きる

令和6年1月1日の16時10分に能登半島地震が発生しました。今回の震災で、能登地方を中心に県内外で甚大な被害がでています。多くの尊い命がなくなり、そして現在も安否が不明な方も多数います。家が被災し、十分な食料や水分、電気が確保されない中、家が被災し、避難生活を余儀なくされている方々も多数います。河北郡市においても、道路の隆起や陥没のほか、断水や家屋への被害も多数発生し、不自由な生活を余儀なくされている人もいます。

私自身も地震発生時、能登の輪島市の実家に帰省していました。こたつに入ってくつろいでいるときに、スマホの緊急地震速報が鳴りました。数秒間の揺れが続き、もうそろそろ揺れも収まったかなと思ったときに、ものすごく強い横揺れが十数秒間続きました。こたつの布団を頭に被るなどして身をかがめ、揺れが収まった瞬間に、家中に散乱したものをかき分け外へ出ました。津波警報が鳴り響く中、急いで車に乗り込み高台にある避難所へ向かい、そこで一夜を明かしました。今でもその瞬間の恐怖が蘇ってきます。翌2日に自宅周辺の変わり果てた街並みを見て言葉もありませんでした。

人はいつ死ぬかわからない。  
朝起きて、  
今日も命があったと思う。  
だから、  
今日、精一杯生きる。

ロレンツィオ・デ・メディア  
(政治家)

今回、自然災害の恐ろしさを目の当たりにし、改めて、命あること、生きていることが、そして、当たり前前の毎日を過ごせることが、いかに幸せであるかを、強く実感しています。

辛い年明けとなりましたが、被災した地域の日でも早い復興を願い、そして私たちは、命あること、当たり前前の生活ができることに感謝し、今いる場所で、精一杯日常を生きて、明日に向かって歩みを進めていきましょう。

## 3学期は、次の学年への重要なステップ

3学期は、一年間で一番短い学期ですが、次の学年への重要なステップの期間です。自分の夢・目標をしっかりと意識して、3学期のスタートを切ってください。

3年生は、今月から推薦入試が始まります。また、2月1日には私立高校入試が行われます。共に支えあいながら、最後まで徹底的に勉強をやり抜き、試験当日を迎えてください。

2年生には、3年生に代わる最高学年として、津幡中の顔になることを自覚してほしい。努力を続ける強さと人への優しさをもった、素敵なひとりひとりになってください。

1年生は、もうすぐ「先輩」となります。中堅学年になる自覚を持ち、ひとりひとりが新入生のよき手本となってくれることを期待しています。

